

ポルトガル月報

2024年4月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★ルイス・モンテネグロ首相の就任式の実施

★革命記念日の記念行事の開催

【外交】★ルイス・モンテネグロ首相のスペイン訪問

★モンテネグロ首相、ゼレンスキー大統領と電話会談

【経済】★2024年第1四半期の経済成長率発表

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

内政

★ルイス・モンテネグロ首相の就任式の実施

4月2日、アジュダ宮殿にて、ルイス・モンテネグロ首相の就任式が執り行われ、同首相が演説をおこなった。同首相は冒頭、「3月10日の選挙は国民の政治への参加意思及び政治を変えたいという意思を示すものであった。」と述べた。そして、「我々は4年間にわたり政権運営を全うするためにここにいる。我々は一時的な政権として居座るつもりは全くない。」と4年間の任期を全うする意欲を述べた。また、減税政策、保健医療制度改革等にも優先的に取り組む旨を述べた。

●政府綱領の承認

4月12日、議会は10日に与党の民主同盟（AD）より提出された政府綱領を承認した。同政府綱領は医療従事者等の待遇改善などの社会保障関連の施策が大部分を占めた。その他、所得税及び法人税の減税、住宅支援、空港移転等について施策が発表された。

●インテルカンパス社の世論調査結果

4月14日、インテルカンパス社は政党支持に対する世論調査の結果を発表した。最大野党である社会党（PS）の支持率が26.6%となり、3月の共和国議会選挙で勝

利した民主同盟（AD）の支持率22.5%を上回った。野党第二党であるシェーガ党（CH）及び統一民主同盟（CDU）の支持率は減少した。リベラル主導党（IL）、左翼連合（BE）、自由党（L）及び人と自然と動物の党（PAN）の支持率は増加した。

同社による最新の政党別支持率は以下のとおり。

政党	12月	1月	2月	3月	4月
PS	25.4	26.4	22.4	28.0	26.6
AD*	N/A	20.8	24.3	28.8	22.5
CH	11.6	16.6	16.5	18.0	14.4
IL	6.6	5.4	6.6	4.9	9.0
BE	8.8	7.4	5.4	4.3	7.3
CDU**	2.4	3.9	2.7	3.1	2.1
PAN	3.0	2.2	3.2	1.9	2.7
CDS	1.6	N/A	N/A	N/A	N/A
Livre	2.9	1.3	2.7	3.16	5.3

*社会民主党（PSD）と民衆党（CDS-PP）の連合

**ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）の連合

●欧州議会議員選挙に関する世論調査の発表

4月27日、インテルカンパス社は6月に実施される欧

州議会選挙に関する世論調査を発表した（当国では9日が投票日）。ポルトガル共和国議会で最多議席を保有する与党の民主同盟（AD）は支持率23.2%となり、野党第一党の社会党（PS）が27.7%となり首位となった。3月の共和国議会選挙で躍進したシェーガ党（CH）は10.7%となり3位となった。世論調査の結果は以下のとおり。

政党	欧州議会政党会派	支持率
民主同盟(AD)*	欧州人民党 S&D	23.2%
社会党(PS)	社会民主進歩同盟(S&D)	27.7%
シェーガ党(CH)	アイデンティテと民主主義(ID)	10.7%
リベラル主導党(IL)	欧州刷新(Renew Europe)	3.6%
左翼連合(BE)	The Left(GUE/NGL)	6.1%
統一民主同盟** (CDU)	The Left(GUE/NGL)	2.7%
自由党(L)	欧州自由連合(Green/EFA)	4.8%
人と自然と動物の党(PAN)	欧州自由連合(Green/EFA)	1.1%

*社会民主党(PSD)と民衆党(CDS-PP)の連合

**ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV)の連合

★革命記念日の記念行事の開催

4月25日、当地にて革命記念日（通称：カーネーション革命）の記念行事が行われた。1974年の革命から50周年となる今年は、ブラジルを除くポルトガル語圏諸国から国家元首が参加した（ブラジルからは外務大臣が参加）。同日午前に行われた、共和国議会での式典で演説を行ったレベロ・デ・ソウザ共和国大統領は、「近代史において、カーネーション革命に匹敵する革命やクーデターは他にない。我々は不完全であっても、常に独裁政権よりも民主主義を好む。我々が望む道は独裁政権でなく民主主義なのだ。ポルトガルの未来のために、より良い民主主義を」と述べた。

外交

●パウロ・ランジェル外務大臣のNATO外相会議出席

4月3日、4日、パウロ・ランジェル外務大臣はブリュッセルにてNATO外相会合に出席した。NATO設立75周年を迎える日に開催された同会合は、ランジェル外相の就任以来最初の閣僚会合であった。ロシアによるウクライナ侵攻及びインド太平洋における協力について議論がなされた。また、同日、レベロ・デ・ソウザ大統領はNATO設立75周年に関する祝辞を発出した。

★モンテネグロ首相、ゼレンスキー大統領と電話会談

4月3日、ルイス・モンテネグロ首相は、ゼレンスキー/ウクライナ大統領と電話会談を行った。ゼレンスキー大統領は、モンテネグロ首相の首相就任に祝辞を述べた。同首相は「必要とされる限り、我々は、ウクライナが必要とする限り、政治的、経済的、人道的及び軍事的支援を継続する。我々は、欧州と世界の平和構築のために協力していく。」とウクライナへの支援継続する旨発言した。

★ルイス・モンテネグロ首相のスペイン訪問

4月15日、ルイス・モンテネグロ首相は、就任以降初めての二国間での公式訪問としてマドリッドを訪れ、サンチェス首相と会談した。両者は、ポルトガル・スペイン首脳会合を10月にポルトガルにて行うことを決定した。同会談では、ウクライナ、中東情勢を中心に、二国間関係や欧州連合等の国際情勢について意見交換が行われた。

●ルイス・モンテネグロ首相、欧州議会議長と会談

4月19日、ルイス・モンテネグロ首相は、ロベルタ・メツォラ欧州議会議長の訪問を受け、会談を行った。両者は6月に行われる欧州議会選挙について意見交換を行った。メツォラ議長は、訪問中、レベロ・デ・ソウザ大統領とも会談を行った。

●ルイス・モンテネグロ首相のカーボベルデ訪問

4月20日、ルイス・モンテネグロ首相はカーボベルデを訪問し、コレイア・イ・シルヴァ首相と会談を行った。会談後、両首相は今年11月19日に二国間首脳会談を開催すると発表した。首脳会談開催時には、両国の企業・経済関係者

による意見交換会が行われる予定。モンテネグロ首相は、「我々は、ポルトガル企業によるカーボベルデへの投資を行い、これまで良い結果を出している。」とポルトガル企業のカーボベルデへの進出の成功を強調した。

●ルイス・モンテネグロ首相、アンゴラ大統領と会談

4月26日、ルイス・モンテネグロ首相は革命記念日の記念式典に出席するためポルトガルを訪問中のジョアン・ロウレンソ/アンゴラ大統領と会談を行った。会談後、モンテネグロ首相は、「ロウレンソ大統領と、文化、教育、経済等多岐にわたる分野で、緊密な関係を維持するという双方の意思を確認する良い機会であった。」と述べ、ポルトガルはアンゴラと、二国間関係の文脈だけでなく、EU、国連及びCPLP等の枠組み内で協力していくべき旨発言した。ロウレンソ大統領は、ポルトガルが国連安全保障理事会の2027/28年の非常任理事国候補であることに言及し、同件に於けるアンゴラの支持を表明すると共に、「モ」首相をアンゴラへ招待した。

●モンテネグロ首相、東ティモール大統領と会談

モンテネグロ首相はジョゼ・ラモス＝ホルタ/東ティモール大統領と会談した。同首相は会談後の共同記者会見にて両国を、「兄弟民族であり、兄弟国である」と表現した。また、両国が「平和、民主主義、人権という共通の価値観」を共有している事に触れ、東ティモールの地政学的立地がポルトガル企業にとっての機会である旨発言し、経済面での更なる協力可能性を強調した。

●パウロ・ランジェール外務大臣、マウロ・ヴィレイラ/ブラジル外務大臣と会談

4月26日、パウロ・ランジェール外務大臣はマウロ・ヴィレイラ/ブラジル外務大臣と会談した。両大臣は二国間及び多国間に関する議題、ポルトガル語諸国共同体、メルコスール-EU協定、イベロアメリカ共同体等、多岐にわたる分野において意見交換を行った。加えて、ブラジルが議長国を務めるG20へのポルトガルの参加についても意見交換がなされた。

経済

●2023年3月の電力構成における再生可能エネルギーの割合発表

4月12日、ポルトガル再生可能エネルギー機関（APREN）は国内の再生可能エネルギーに関するデータを発表した。ポルトガルの2024年3月の電力構成における再生可能エネルギーの割合は84.4%となった。種別では、水力が48.7%、風力が30.9%、太陽光が6.1%、バイオマスが4.9%となった。ポルトガルの電力構成における各月の再生割合は下記のとおり。

	11月	12月	1月	2月	3月
再生割合	83.4%	81.3%	80.4%	83.5%	84.4%

●2023年12月の貿易取引数値の発表

3月9日、国立統計院（INE）は2024年2月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。1月の貿易取引量は前年と比較し、輸出が0.4%増、輸入が4.5%減となった。

●2024年3月の年間消費者物価指数の発表

4月10日、国立統計院は2024年3月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は2.3%となり、前月から0.2%増加した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.4%）を下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下の通り。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ポルトガル	2.1%	1.5%	1.4%	2.3%	2.1%	2.3%
ユーロ圏	2.9%	2.4%	2.5%	2.8%	2.6%	2.4%

★2024年第1四半期の経済成長率発表

4月30日、ポルトガル国立統計院は2024年第1四半期の経済成長率を発表した。同期間の経済成長率は1.4%となり、2023年第4四半期と比較し0.7%増加した。
(了)

